

---

# 株式会社北洋銀行 会社説明会資料

東証第1部・札証

証券コード8524

2018年7月3日

取締役頭取 安田 光春



**1. プロフィール** P.1～

**2. 経営成績** P.5～

**3. 経営戦略** P.10～

**4. 配当政策・株価の状況** P.22～

(ご注意事項)

- 資料には北洋銀行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、予想と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。
- 北洋銀行以外の金融機関に関する情報は一般に公知の情報に依拠しております。
- 表示金額は特にことわりのない場合、表示金額未滿を切り捨てております。

# 1. プロフィール



ほっくー

## 沿革

**大正6(1917)年8月 北海道無尽株式会社として創立**

昭和26(1951)年 北洋相互銀行に商号変更

平成元(1989)年 普通銀行に転換、北洋銀行に商号変更

平成10(1998)年 北海道拓殖銀行より営業譲り受け

平成13(2001)年 札幌北洋ホールディングス設立

平成20(2008)年 札幌銀行と合併

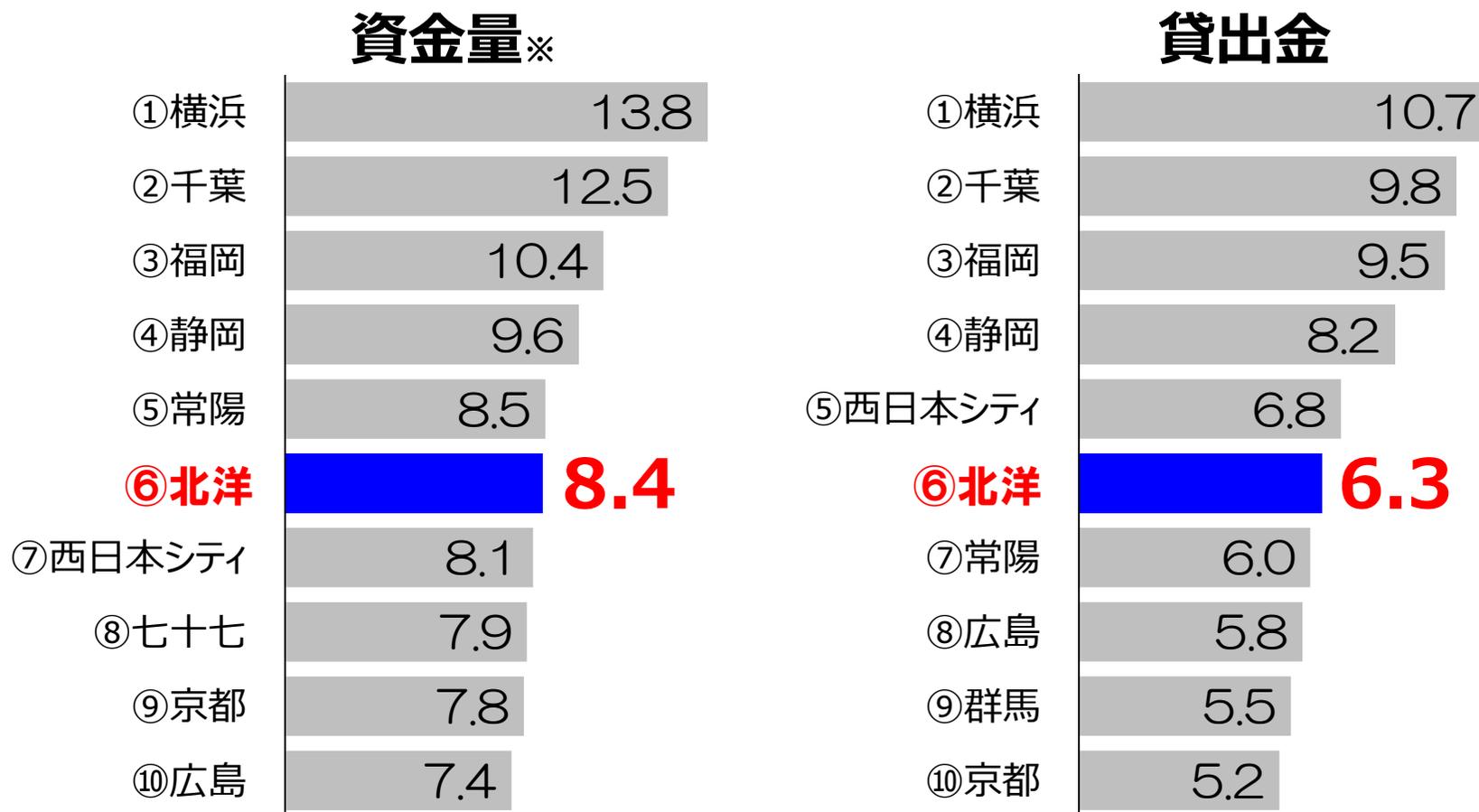
平成24(2012)年 札幌北洋ホールディングスと合併

**平成29(2017)年8月 創立100周年**

新たな100年に向かって・・・

# 全国の地域銀行で6番目

2018年3月末現在（単位：兆円）



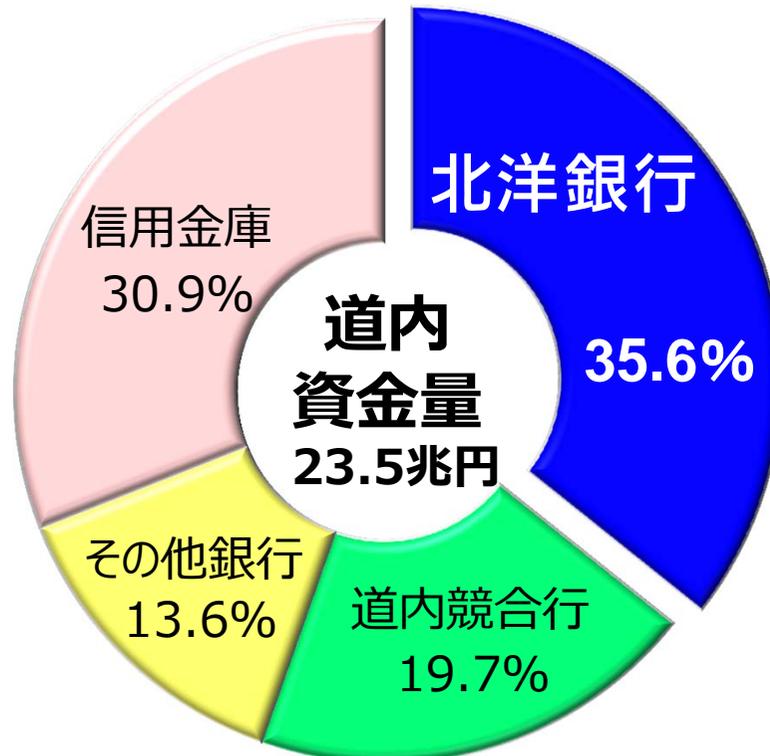
※資分量 = 預金 + 譲渡性預金

(出所) 各行決算資料

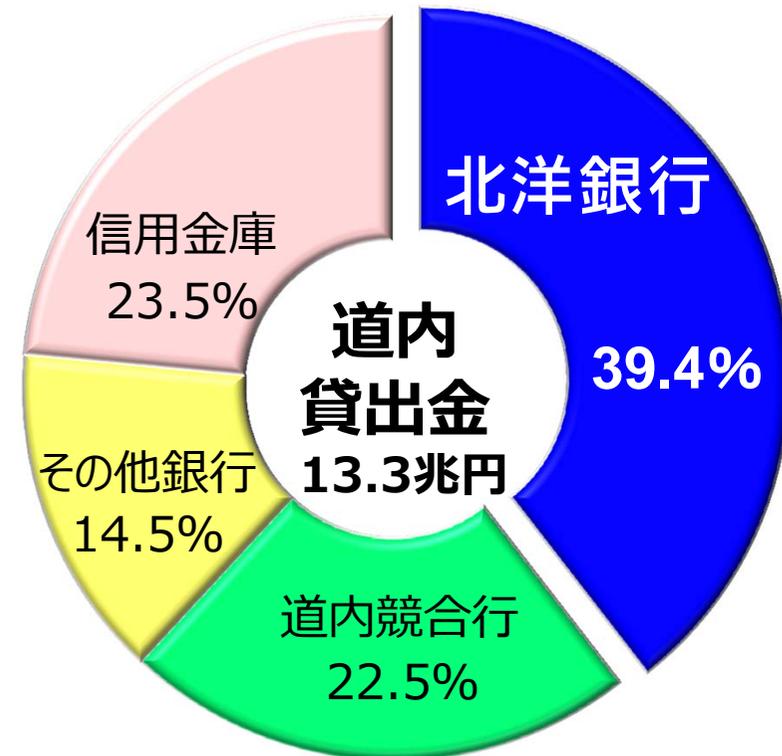
# 圧倒的な道内第1位のシェア

2018年3月末現在

## 資金(預金)量シェア



## 貸出金シェア



・道内に本支店のある国内銀行（ただし、ゆうちょ銀行、整理回収機構除く）および信金の残高に基づくシェア  
・預金は譲渡性預金含む（道内信金の譲渡性預金については、全国の信金の譲渡性預金残高から推計）  
・シェアについては切り捨てにより合計が100%になりません

(出所) 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「全国信用金庫概況」「信金中金月報 (3月データは速報値を使用)」、各行決算説明資料等により推計

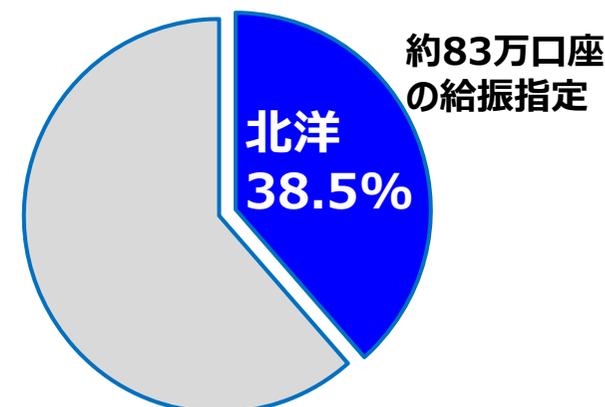
# メインバンク取引社数 地銀No.1

【地域銀行ランキング】

順位	銀行名	社数
<b>第1位</b>	<b>北洋</b>	<b>24,839</b>
第2位	千葉	21,014
第3位	福岡	20,507
第4位	西日本シティ	20,264
第5位	静岡	16,582
第6位	横浜	16,094
第7位	常陽	15,912
第8位	中国	15,774
第9位	広島	15,622
第10位	群馬	15,516

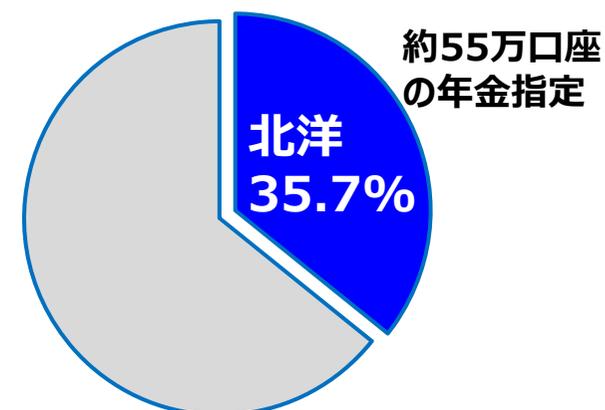
(出所) 帝国データバンク：全国メインバンク調査 (2017年)

【道内給料振込みのシェア】



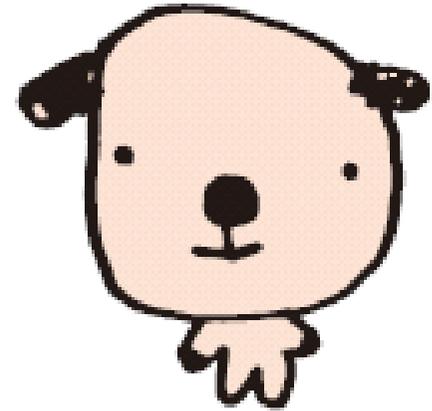
※H28年経済センサスから道内従業者数より推定

【道内年金受給のシェア】



※H27年国政調査から65歳以上人口より推定

## 2. 経営成績



こわんた



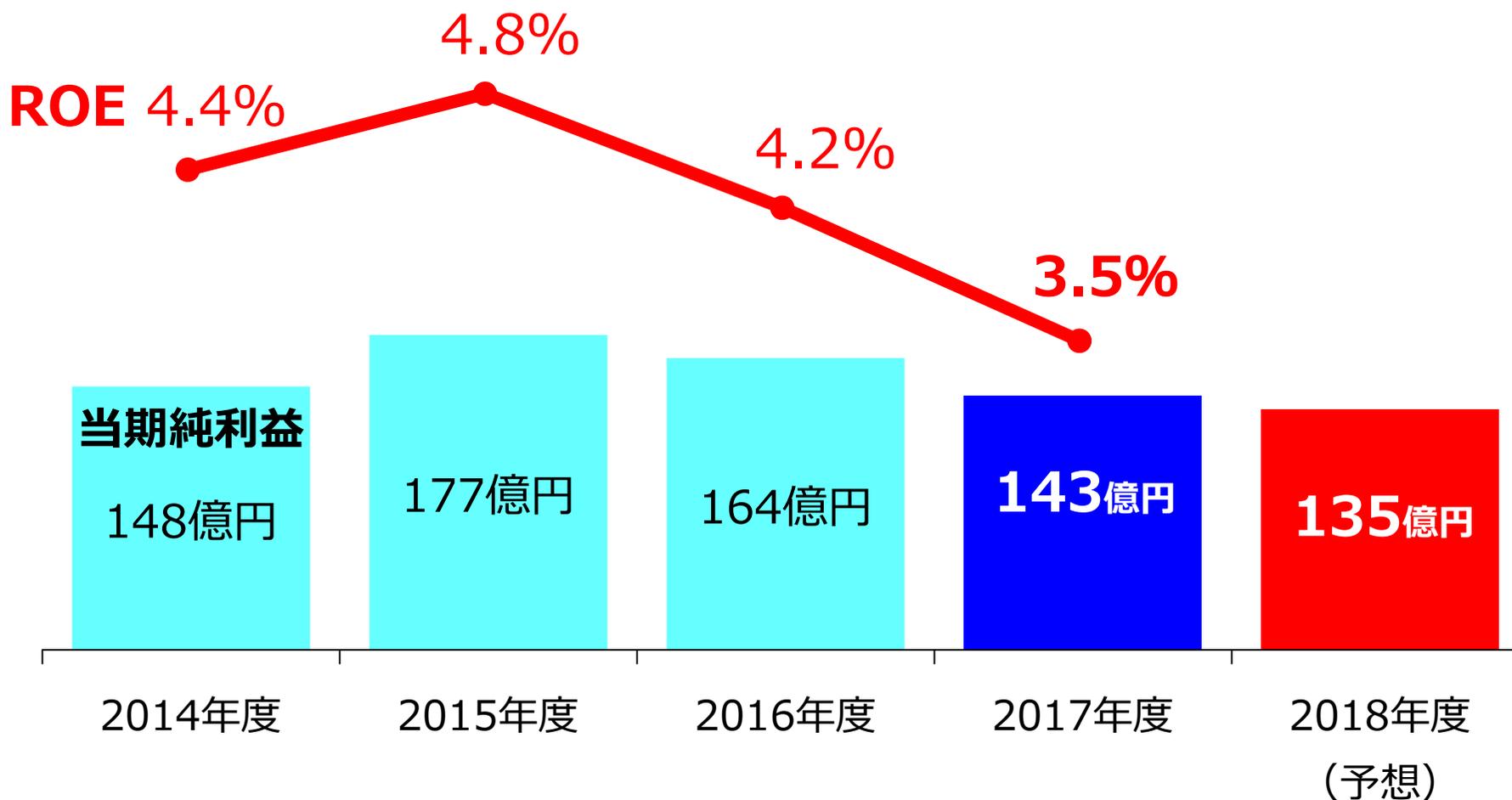
きたこん

## マイナス金利政策による貸出金利息の 減少等から減益決算

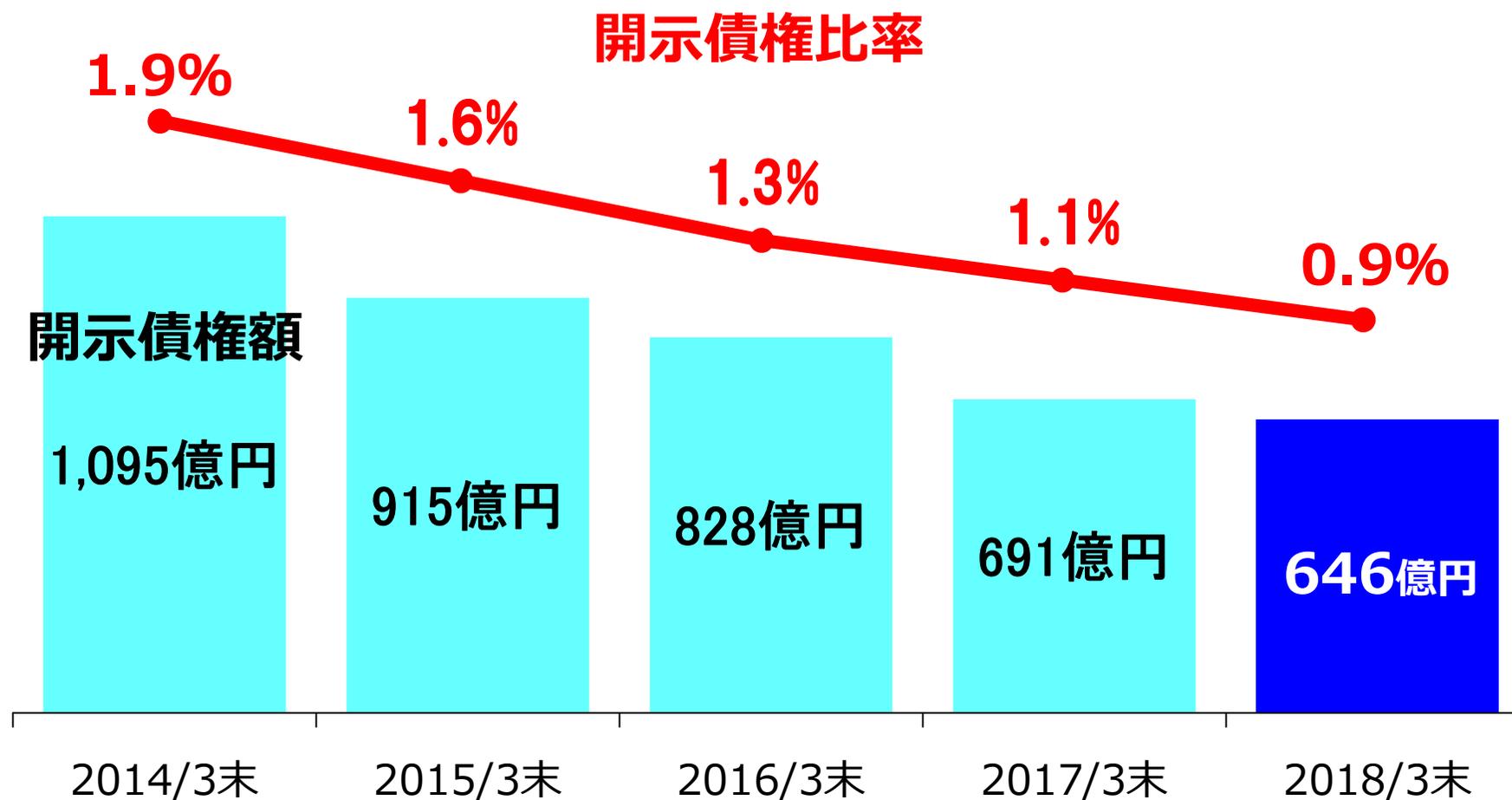
(単位：億円)

	2017年度 実績	前年度比	2018年度 目標値	2018年度 主な取組
1 コア粗利益	879	▲41	893	
2 うち資金利益	727	▲26		道内貸出強化
3 うち貸出金利息	622	▲14		資産形成・運用支援 による手数料強化等
4 うち有価証券利息配当金	139	▲6		
5 うち役務取引等利益	147	▲14		人件費・システム経費等削減
6 経費(臨時処理分を除く)	723	▲19	713	
7 コア業務純益	156	▲21	180	
8 うち信用コスト(▲)	25	43	15	
9 うち有価証券関係損益	4	14		
10 経常利益	160	▲43	205	
11 当期純利益	143	▲20	135	

## 引続き市場金利の低下に伴う貸出金利息の減少等により135億円の予想利益



## 地域銀行の中でも極めて低い水準



※部分直接償却後の債権額および比率 (部分直接償却は未実施)

# 地域銀行の中でも極めて低い水準

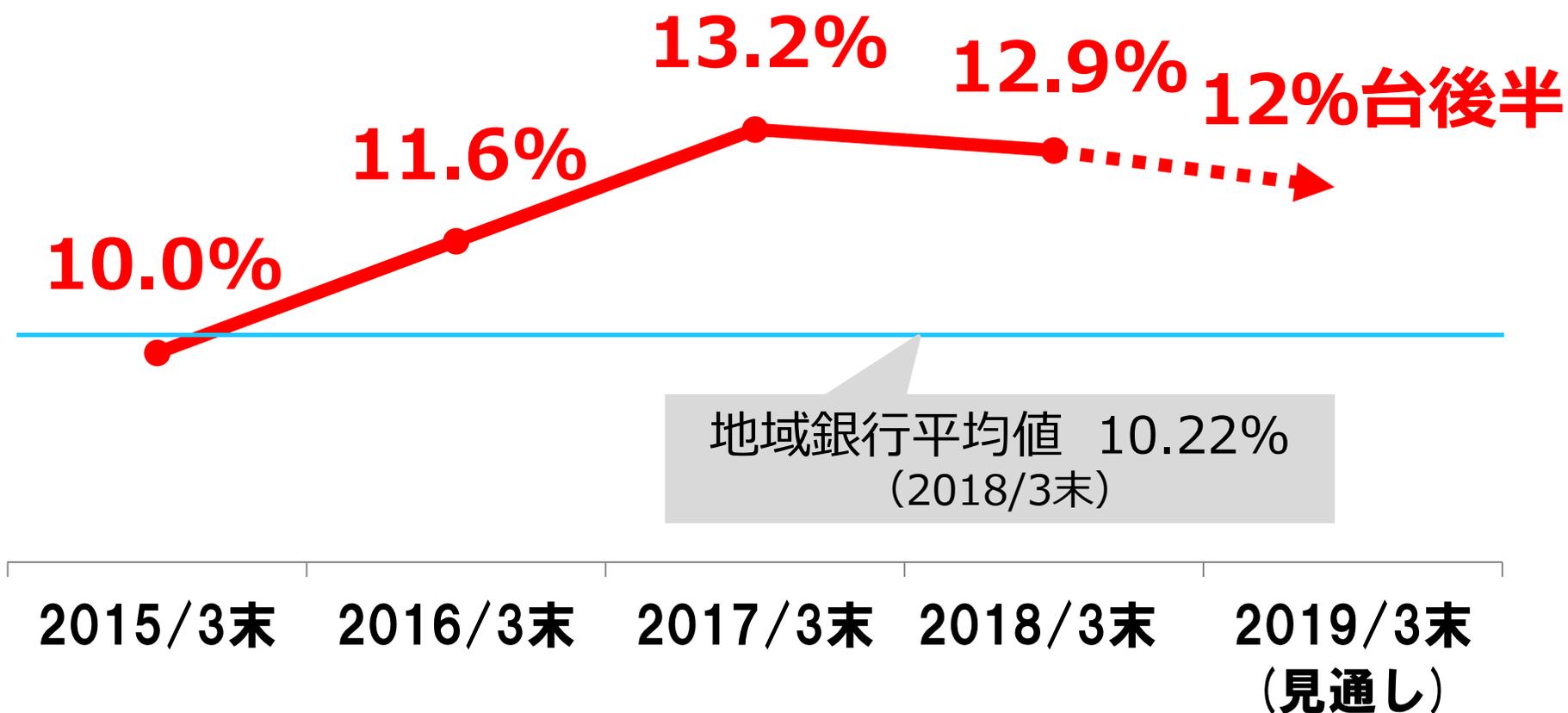
【開示債権比率】<地域銀行 貸出金上位10行>

順位	銀行名	不良債権比率
<b>第1位</b>	<b>北洋</b>	<b>0.99%</b>
第2位	静岡	1.03%
第3位	広島	1.20%
第4位	京都	1.25%
第5位	千葉	1.27%
第6位	群馬	1.42%
第7位	横浜	1.48%
第8位	常陽	1.48%
第9位	福岡	1.61%
第10位	西日本シティ	1.92%

※部分直接償却後（部分直接償却未実施の場合は実施した場合）の比率

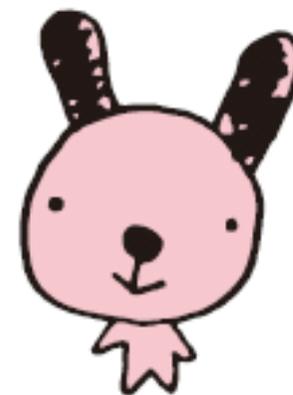
（出所）各行決算資料

## 十分な健全性を維持



※ 2016年3月末より、算出方法を基礎的内部格付手法に移行している

# 3. 経営戦略



らびりん



まりりす

# 「お客さま第一主義」を徹底

## 主な施策

### ① アドバイザリー

資産形成・運用相談  
銀行・証券の連携

### ② フィナンシャル

中小企業向け貸出  
個人ローン

### ③ ソリューション

創業・起業、事業承継  
海外展開などの支援

地方創生

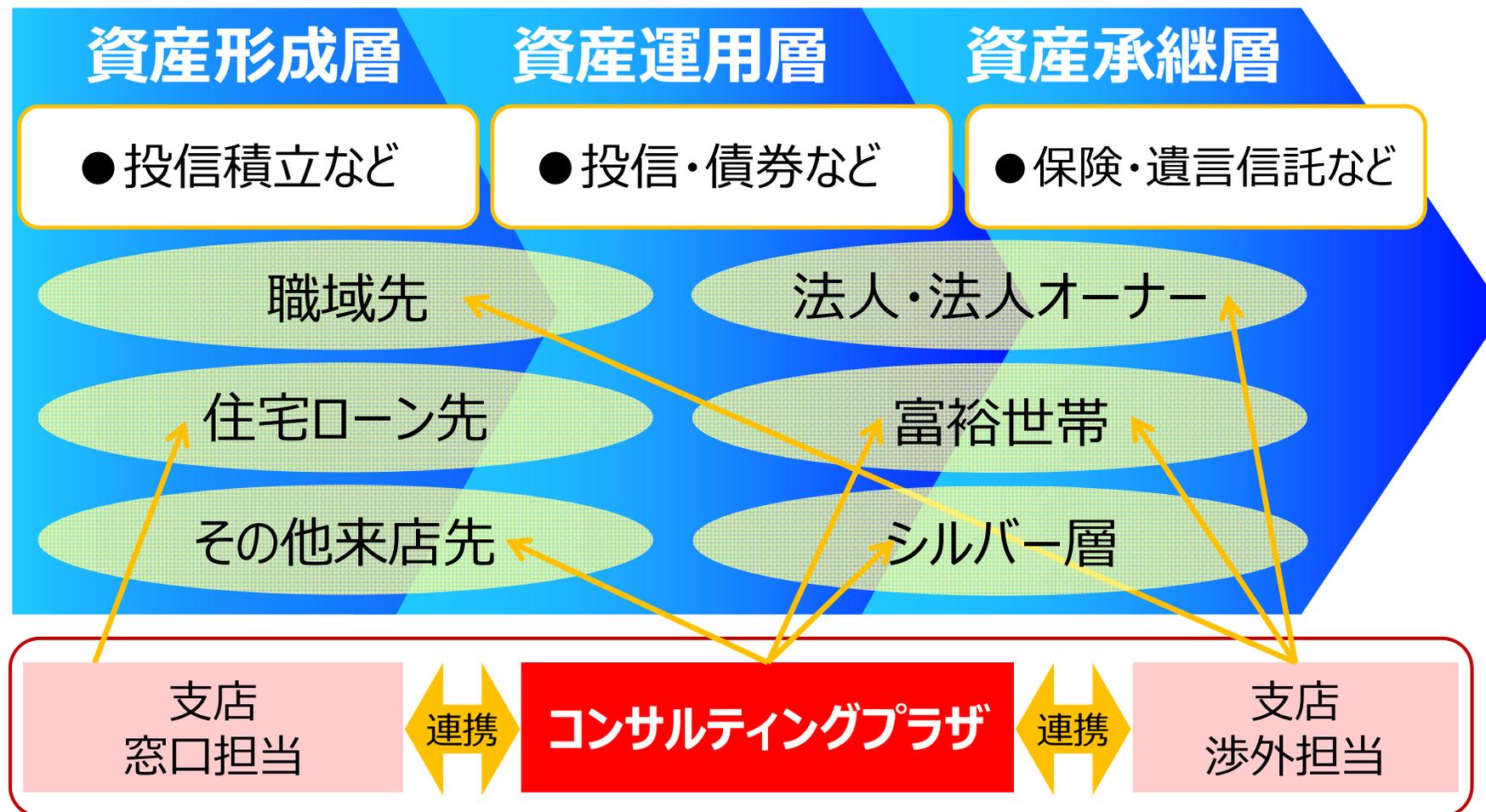
ローコスト体質への変革

フィンテックへの対応

CSR

地域・お客さまとともに成長する銀行へ

# お客さまニーズに応じたコンサルティング



## 上光証券との連携



- 証券商品のラインナップ拡充
- コンサルティングスタッフのスキル向上
- 法人運用先の取込み（金融法人・純預金先等） 等

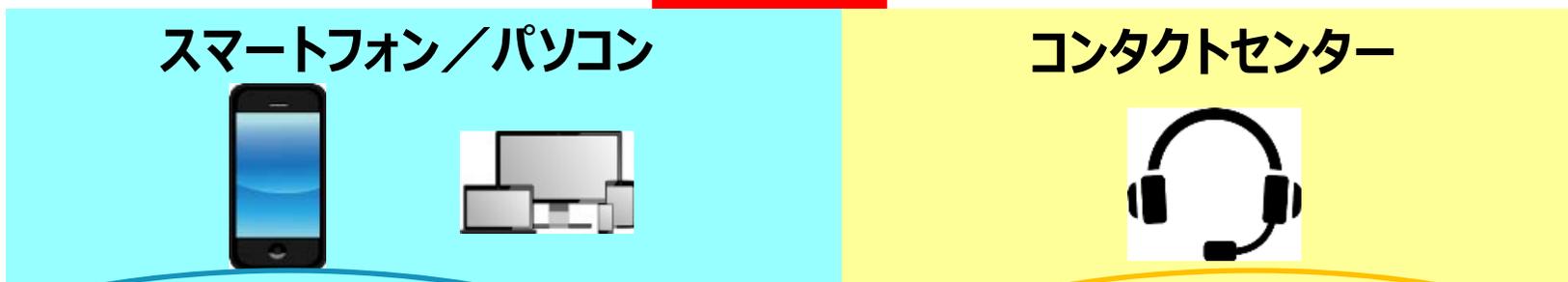
お客さまの相互紹介  
相談窓口のワンストップ化



- 相続関連相談、M&A・事業承継案件の紹介
- 経営基盤の強化 等

3年目5億円、5年目8億円のグループ収益計画

# スマホ・パソコン等による利便性向上



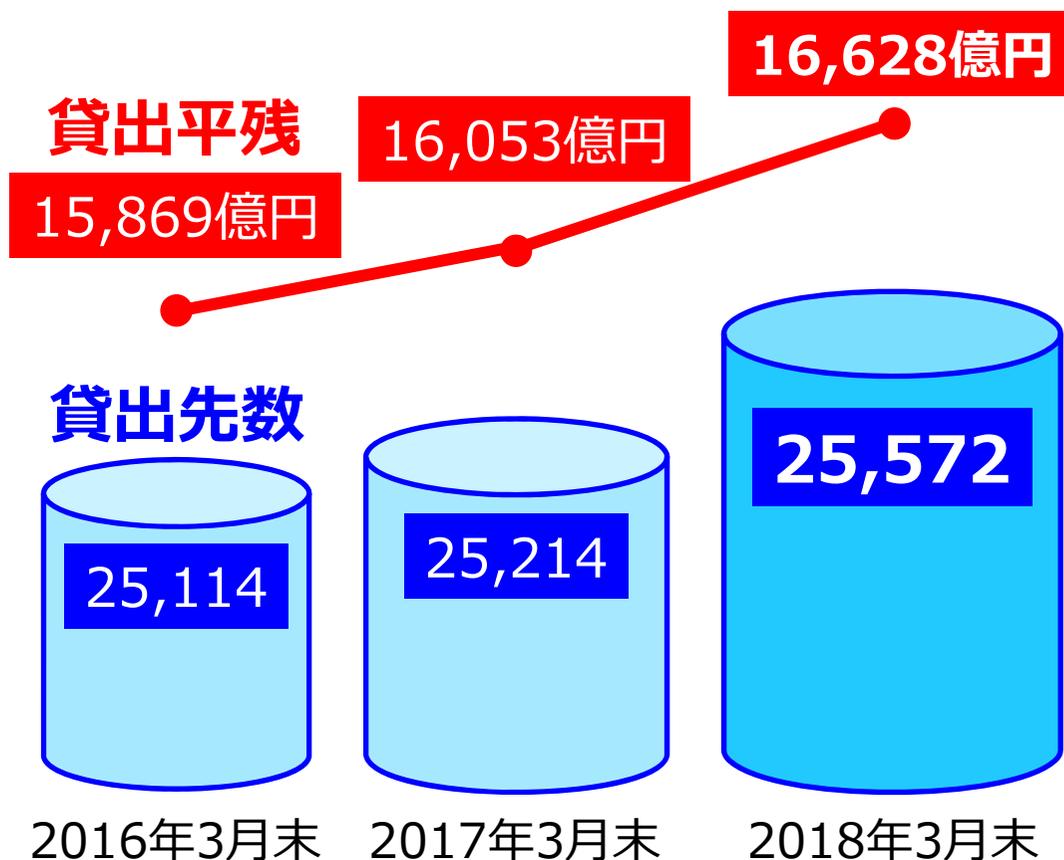
● パソコン等からの申込件数の増加  
'17/3期      '18/3期  
受付件数 13,026      15,225

● オペレーター人員を増員 ('18/5 29名)  
⇒ フォローコールによるサポート強化

パソコン等での完結型商品の導入 ('18/10~) へ

# 事業性評価を通じた貸出増強

## 【道内中小・小規模企業貸出】



事業性評価先  
アンケートの実施



【お客さまが重要視すること】

相談等への迅速性

事業への理解度

金利水準

【お客さまが悩んでいること】

人材・ノウハウ不足

# 事業性評価を踏まえた お客さまニーズへの対応



# 事業性評価を踏まえた お客さまニーズへの対応 【人材・ノウハウ紹介事例】

## 課題

- ・大手自動車メーカーの要請で、海外工場立ち上げが必要だが、精通した人材がない

## 希望

- ・海外工場立ち上げの経験がある同業人材
- ・短期的な対応が可能な人材

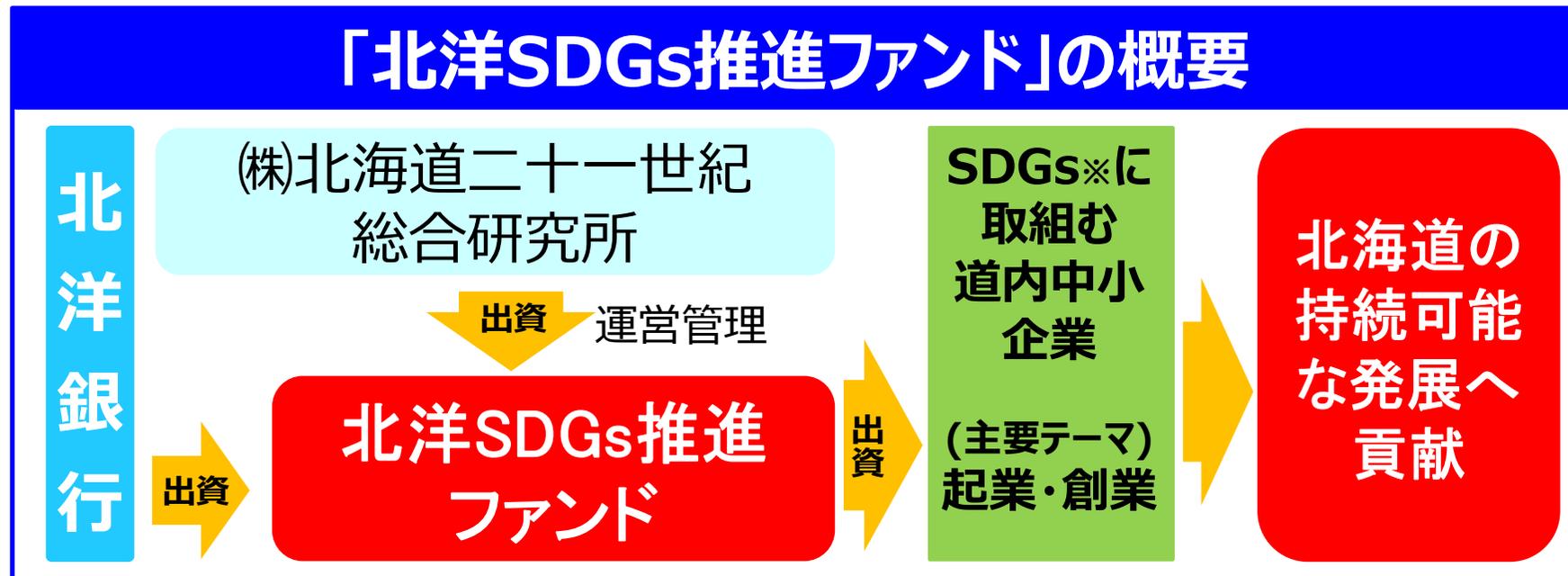


製造業

## 提案

- ・同系列の部品メーカーOBで、海外での工場立ち上げ経験のある複数企業に非常勤で勤務されている人材
- ・短期間で非常勤としての採用

# 成長性や雇用効果を勘案した支援



※SDGs：サステイナブル・ディベロプメント・ゴールズ＝持続可能な開発目標～成長・雇用、エネルギー、イノベーションなど17分野の目標課題あり  
2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標

## 【その他 成長分野へのファンド支援】



- …北洋農業応援ファンド
- …北洋6次産業化応援ファンド



- …北洋ライフサイエンスサポートファンド

# 「道の駅」等を活用した地域連携 物流システムの構築に向けて

**課題** : 北海道は都市間距離が長く、物流はコスト高  
ドライバー不足、労働時間厳格化等による遅配



★道内の主要な「道の駅」等を集荷・保管  
のための物流集約施設として活用



物流効率化・コストの圧縮⇒道内経済活性化

# 生産性の高い強靱な組織への変革 ～徹底した経費の削減～

## ★生産性向上検討会 (頭取直轄の検討組織)

本部・営業点のBPRによる  
戦略的人員の創出

2017年度 233人分

2018年度 341人分へ

中期経営計画中  
400人分  
の人員創出目標

## ★システム経費削減 プロジェクト

開発案件・保守の見直し  
等による抜本的コスト削減

2017年度 約10億円

2018年度 約5億円

中期経営計画中  
約20億円  
のシステム経費削減目標

## ★基幹系システムの 共同化

千葉銀行、第四銀行、  
中国銀行との共同化

2018年度上期中の最終判断  
に向け検討中

2022年度中に共同化を予定

2018年3月期比で  
約30億円  
のコスト削減効果※

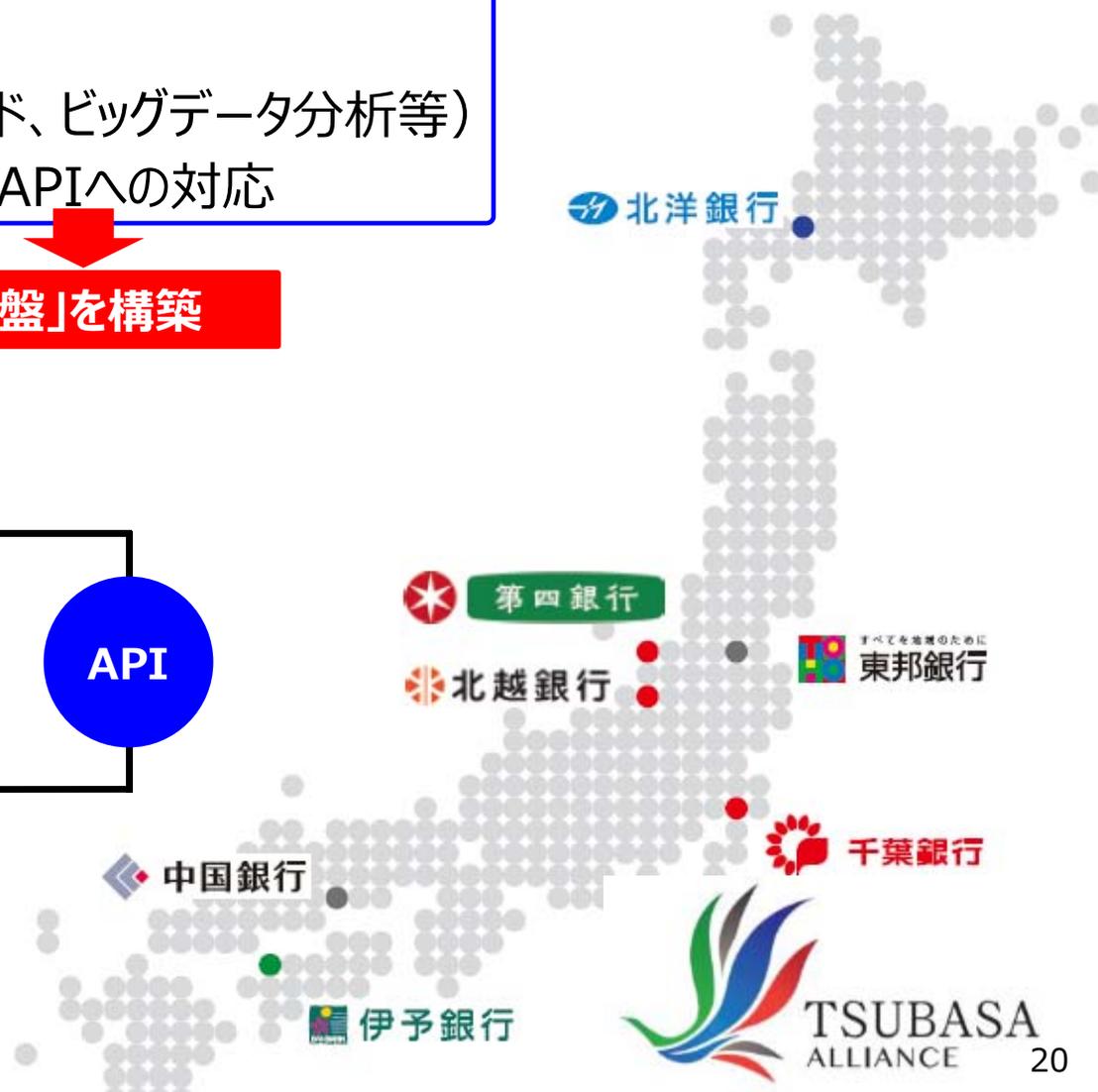
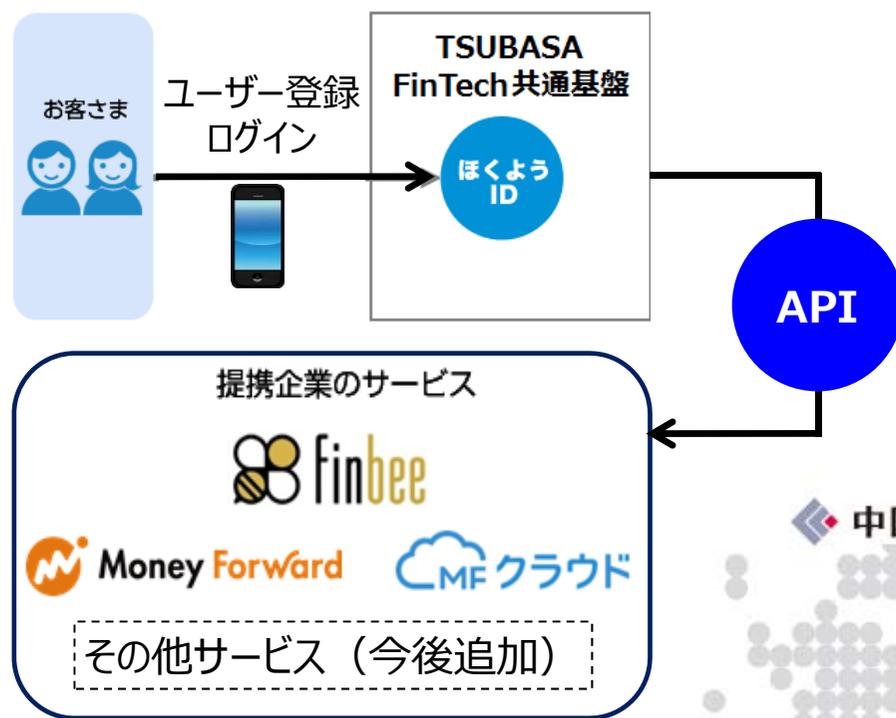
※ イニシャルコスト償却後

# 「TSUBASAアライアンス」による連携

## 【FinTech分野の連携】

- ・人口知能技術の研究（ロボアド、ビッグデータ分析等）
- ・生体認証技術研究 ・オープンAPIへの対応

## 「TSUBASA FinTech共通基盤」を構築



# CSR（企業の社会的責任）



**環境保全**

ほくー基金  
環境ビジネス支援ファンド  
北洋エコボンド

パラスポーツ応援債  
市民医療セミナー  
移植医療への協力

**医療福祉**

**教育文化**

クラシックコンサート  
中学生作文コンクール  
各種金融教育



# 4. 配当政策・ 株価の状況



もりほー



もぎゅ

## 安定配当と業績連動配当を維持

普通配当金  
年間 **10** 円/株

+

業績連動  
配当金

連結純利益※ **150億円を超える部分の**  
**30%**を目処に還元

※親会社株主に帰属する当期純利益

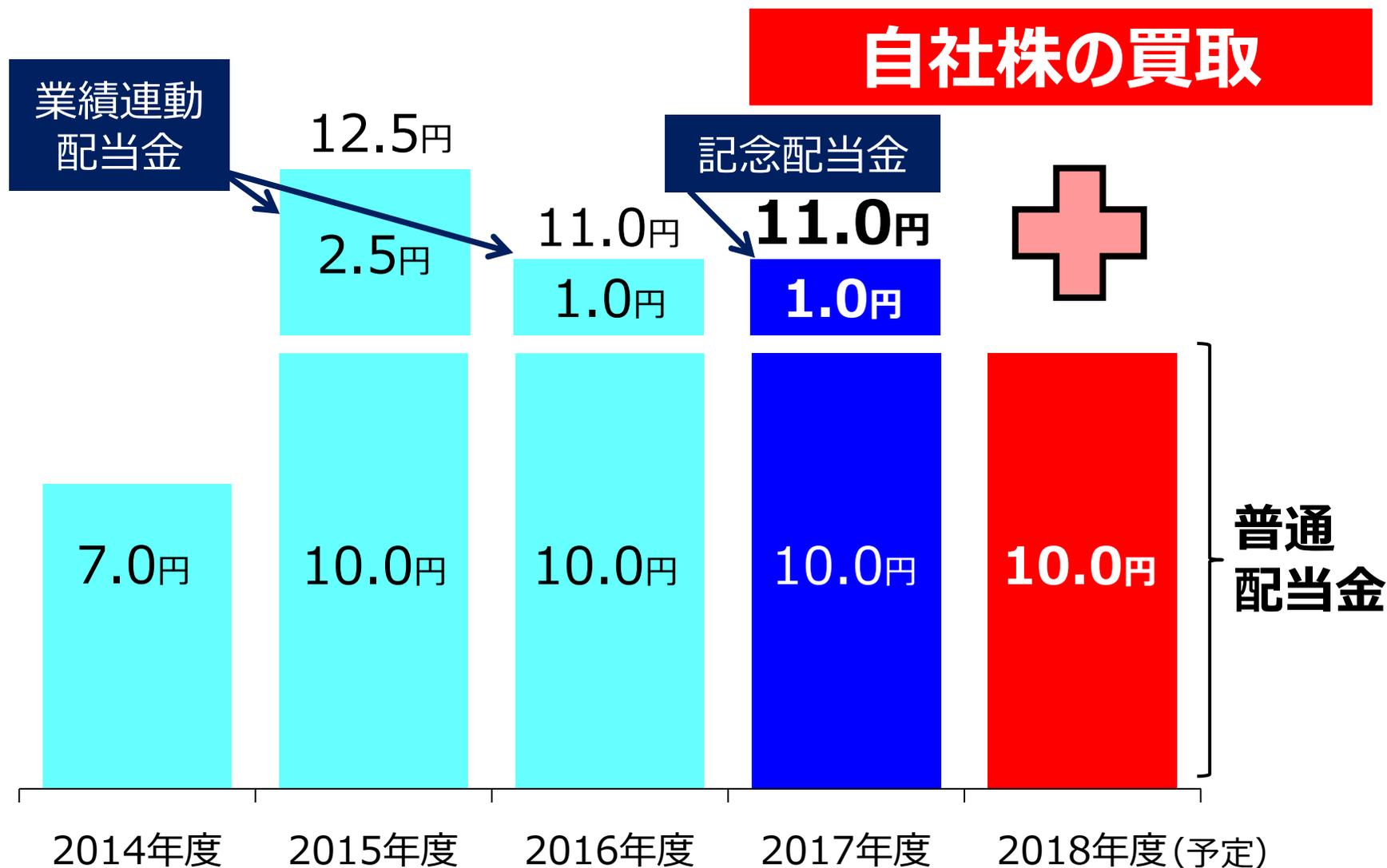
## 総還元性向40%を目処とした 自社株買いを決定

$$\text{総還元性向} = \frac{\text{年間配当金の総額} + \text{自社株買取額}}{\text{連結純利益※}}$$

連結純利益※の約**40%**を配当金と**自社株買い**にあて、株主の皆さまへ総合的な利益還元を実施

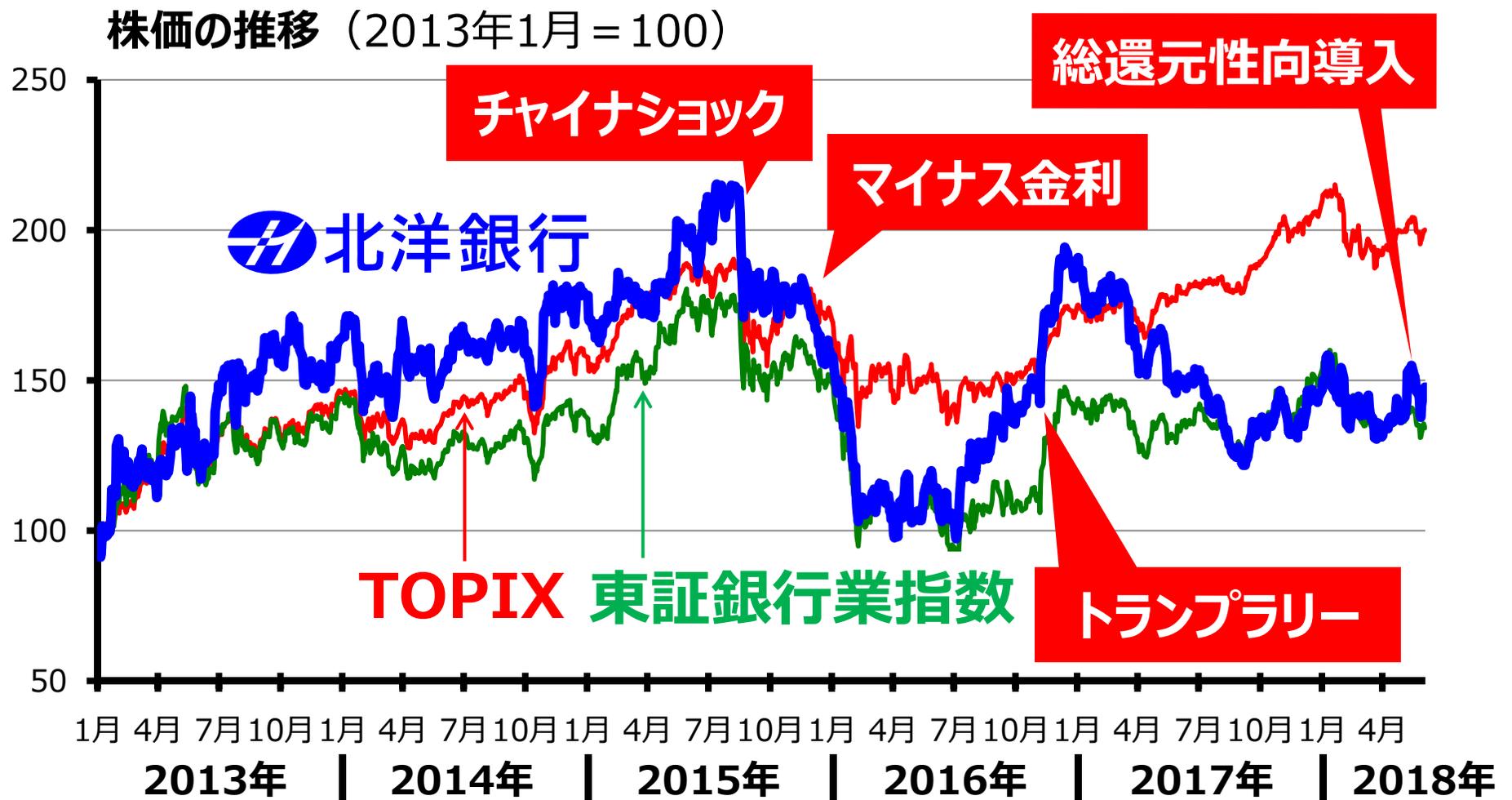
※親会社株主に帰属する当期純利益

# 安定配当・自社株の買取を継続



※ 1株当たりの数値

# 東証銀行業指数を上回って推移



(出所) ブルームバーグ